



みなみの風

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん～

坂下南小学校
学校だより

NO. 15

R6. 5. 21

(文責: 校長 菅家 篤)



南っ子の「いい風景」が見られた

大運動会



子どもたちは、スローガン「輝け！ 353名の笑顔！ 記録より記憶に残る運動会」のとおり、競技や演技、係活動、応援に全力で臨み、一致団結して大きな声で応援する姿など、随所に“いい風景”が見られました。一人一人が輝き、記憶に残る運動会になりました。

子どもたちは、運動会で様々なことを感じ、多くのことを経験しました。

勝利の喜び、正々堂々と勝負した後の清々しさ、仲間との連帯感、ライバルとの友情
集団で演技する心地よさ、思い通りにいかなかった悔しさ などなど。

ご家族の皆様の温かいご声援が、子どもたちの頑張りを後押ししてくださいました。PTA 本部役員、教養厚生委員の皆様はじめ、学年委員、保護者の皆様には、準備や運営、後片付けにご協力頂き本当にありがとうございました。（運動会のハピネスなご感想を、ぜひお寄せください(*^o^*)）



幸せ気分でするしつけ 〈その2〉

～子どもをよりよい方へ動かす魔法のメッセージ～

《バスマットのエピソード》 ある親子のエピソードです😊

娘が小学校の低学年の頃だったと思います。我が家では、お風呂に入った人は、次の人のために、バスマットを所定の場所にかけるようにしていました。背が高くなった娘にも同じようにするよう話していたのですが、娘はマットをかけません。

ある日、腹を立てた私は、娘に小言を言いました。すると、娘は「お母さんは、私が何かをちゃんとやった時は何も言わないのに、やらないときだけ言うね」と生意気な口をきくの。余計に腹を立てた私は「何言ってるの!」とやり返し、その日は終わりました。翌日、私が娘のあとでお風呂に行くと、バスマットがきちんとかかっていた。「これか!」と思い、娘を呼んで、「バスマットきちんとかかっていたよ。ありがとう。とても気持ちいいよ」と、娘の目を見てきちんと伝えました。

その日から、10年以上経った今も、バスマットのかけ忘れは一度もありません。

お母さんの娘に対する働きかけの何かが変わっただけで、子どもの行動を望ましい方へ動かすことができた例です。次回もこのような親子のエピソードを紹介します! “幸せ気分”でするしつけのポイントが少しずつ見えてくると思います。